

2021年1月26日
三峰川電力株式会社

令和2年度「新エネ大賞・新エネルギー財団会長賞」受賞

三峰川（みぶがわ）電力株式会社（以下「三峰川電力」）は、一般財団法人 新エネルギー財団が主催する令和2年度「新エネ大賞」において、“かつての地域シンボル廃止発電所の再生と水資源の有効活用”とした小水力発電所開発が「新エネルギー財団会長賞」【導入活動部門】を受賞しました。

「新エネ大賞」は、新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入、普及啓発、分散型新エネルギーの活用及び地域に根差した導入の取り組みを広く公募し、表彰することを通じて、新エネルギー等の導入の促進を図ることを目的としているものです。

今回受賞致しました、「かつての地域シンボル廃止発電所の再生」は、長野県駒ヶ根市（旧中沢村）で昭和36年まで地域のシンボルとして小水力発電所が稼働していた経緯より、地元から発電所再生の要望をいただき、新たなシンボルとして発電所建設を行いました。

「水資源の有効活用」は、静岡県富士宮市を流れる北山用水を活用し、2箇所の発電所建設を行いました。北山用水は、由緒ある歴史的背景を持ち、灌漑用水や上水道水源として活用されていることから、地元との協調・理解を得ながら、地域に調和した発電所となりました。

クリーンな循環型自然エネルギーである小水力発電事業は、豊かな河川と山々に囲まれた日本の地形に適しており、同時に大規模なダム建設と比較して環境負荷が低いため周辺環境との調和も可能となることから近年大きな注目を集めております。

三峰川電力は、「持続可能な開発目標」をサステナビリティの環境・社会における重要な課題と捉え、今後もこれまでの発電事業にて培われた経験を最大限に活用し、安心・安全な自然エネルギーのさらなる普及・拡大に努めます。そして、環境・社会課題の解決および各地の街づくりに協力・貢献していきます。

新エネ大賞

新エネルギー財団会長賞



かつての地域シンボル廃止発電所の再生と水資源の有効活用

新エネ大賞 HP : <https://www.nef.or.jp/award/>

関連ニュースリリース :

https://www.marubeni.com/jp/news/2019/group/data/group_191119_mibugawa.pdf

https://www.marubeni.com/jp/news/2019/group/data/group_191127_mibugawa.pdf

以上